

＝ 市史編さん便り＝ 【46号】 令和5年11月6日(月)発行

\*\*\*\*\*土佐清水市教育委員会・市史編さん室

## 科研調査のため、学習院大学・斉藤名誉教授、 須田教授、立教大学前田名誉教授が 市史編さん室を来訪！

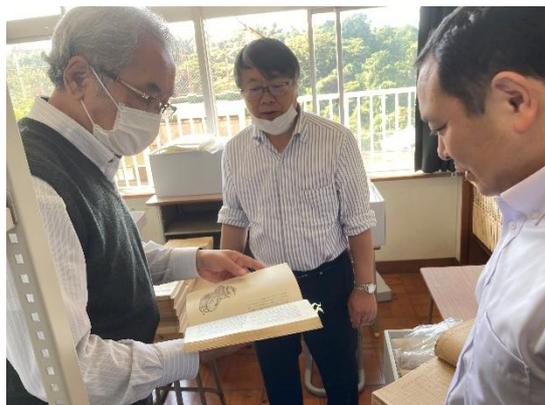
11月2～3日(木～金)、戦時中の『学校日誌』を研究し、戦時中の教育について研究している学習院大学斉藤名誉教授・須田教授、立教大学前田名誉教授の3名の研究者が土佐清水市教育委員会生涯学習課を来訪した。

2日は、市街地の越地区に所在している第132震洋隊基地である格納壕を見学した。西牧山の北麓に13個の格納壕が現存している。ここにはベニア板製の草色に塗装された「震洋艇」が1～3隻格納された。このように格納壕が現存している基地跡は全国的にも稀である。

3日は、朝から中浜小学校2階のある歴史資料収蔵スペースで、戦時中の中浜・益野・窪津の各小学校の『学校日誌』を精力的に閲覧・写真撮影した。ここでは、戦後に墨塗された部分を調査し、「いつ時期に記事が墨塗りされたか」「どのような記事が墨塗りされているか」を分析・調査するものである。土佐清水市内の戦時中の『学校日誌』は、黒塗りの部分が多くあり、よい研究材料になることで3名の先生方もとても喜ばれていた。



↑ 第132震洋隊基地の特攻艇格納壕を見学する3人の研究者の皆さん。



↑左から学習院大学齊藤名誉教授、立教大学前田一男名誉教授、学習院大学須田教授。中浜小学校2階歴史資料スペースで熱心に戦時中の『学校日誌』を閲覧・撮影する3人の研究者の皆さん。

## 土佐清水市史編集委員・出原恵三氏

### 「和島誠一賞」受賞記念講演&祝賀会



11月4日17時30分より高知城ホールにおいて土佐清水市史で「考古」「戦争遺跡」の章を執筆くださった出原恵三氏が和島誠一賞を受賞し、その記念講演と祝賀会が120人以上の出席者を迎え、盛大に開催された。土佐清水市史編集委員会を代表し、武藤清編集委員と田村公利編集委員長がこれに出席させていただいた。

↑右=宅間一之監修(土佐史談会会長)、中=出原恵三氏、左=出原氏奥様。